

保父会ニュース

1990.3.26

vol.1 発行 北海道の子どもと保父の会

発行にあたって

小田進一

雪が少ない冬が終わりを告げようとしています。三月のうちにも春らしい陽気が続き、年度末の慌ただしさも、春の陽気に誘われて例年より少しゆとりを持って迎えることができただけではないと思います。北海道の子どもと保父の会も結成以来三年になりました。

昨年は、北星学園大学永田教授にご指導をいただき、北海道における保育関係者の男性保育者に対する意識についてを、なんとかまとめることができました。その内容を見ますと、受容に対する意識は決して低くないが、現実的な対応に苦慮しているという状況が伺われます。私たちの周りでも男性保育者の保育現場への定着は、非常にゆつくりしながらも歩みを進めているように思われます。

子どもを取り巻く環境は、さまざまな問題をはらんではいませんが、幼稚園教育要領、保育所保育指針などの改定の動きを見てみると、子どもに関わるもの達が、子ども一人一人について知り・かわりながら育ちの援助に回る、子ども自身が自ら育っていくことを大切にすると、非常に質の高い保育を指向するようになってきているように思います。

質の高い保育を支える保育者にさまざまな個性が必要なのは言うまでもありません。私達も。その一翼を担うために、学び・実践の中から「力」を培って行かねばなりません。

第三回総会に集ったもの達の、話合いの中での「必ずしも例会に集まれない現実を乗り越えて、私達の思い・考えを表現し、また交換できれば」との声を受ける形で、今回このような機関誌を発行しました。皆さん！意見をたくさん寄せられ、充実した内容に作りあげて頂きたいと思えます。仲間のいる心強さをここに実力をつける助けになり得れば幸いです。

北海道の子どもと保父の会の歩み

北海道男性保育者連絡準備会
一九八四結成を経て、一九八七年八月二二日に十五名が集って発足。会の名称を「北海道の子どもと保父の会」と決める。子どもたちとの生活を基盤にすることを念頭に置いたネーミングである。

その後の活動

- ・ 絵本を基にした保育について研修会
- ・ けんだま学習会
- ・ 松田道雄「育児の百科」ビデオ学習会
- ・ 会員の施設保育園紹介ならびに見学
- ・ 保育実践報告討論会
- ・ 全国男性保育者交流会へ派遣
- ・ 男性保育者にかかわる調査研究活動等

第3回総会報告

去る、2月十、十一日の二日間、「北海道の子どもと保父の会」の第三回総会が札幌の北白石保育園で行われました。参加者は次の通りです。

大泉善夫、小田進一、瀬尾昌彦、別府国茂、藤田春義、堀合茂樹、寺島洋充、船戸敬悦、伊藤裕、大泉修、宇佐記幸、桑原一司
以上十二名

尚、当日出席を予定されていた、千葉政幸、中村勝志、不破真二の三名は、事情により欠席でした。第一回が十五名、第二回が八名と落ち込んでしまった参加者が、第三回で盛りかえし、会員数も十九名から二十六名に増えている事など、少しづつではありますが、確実に「輪」は広がってきている様な気がします。

六十三年 活動報告

昭和六十二年八月二十二日、現場で自分たちの力を発揮できない現状を打破し、「男性が保育の中で生きやすい場づくり」をめざす。それを目的として会を設立しました。具体的な活動は、六十二年八月の第一回総会、六十三年十一月二十六、二十七日の第二回総会、そして道庁別館で月一回、定例会が行われています。

第二回総会の中で「会の目的を煮つめること」や「例会の充実」が挙げられていました。事務局が主体的にこれらの解決のために動かかけたためできませんでした。例会の参加者は三、五名と少なく、人も固定化されており、今後の積極的な参加が望まれます。

調査活動としては、北星大学の永田教授の指導のもと、保父の実態調査を行いました。道内の私立認可保育所の園長、主任保母、保母、保護者にアンケートを依頼してまとめましたが、単なる実態調査にとどまらず、男性保育者の位置と課題を統計的に研究したものとなり、日本福祉学会でも発表されました。

これからの 活動方針

今、職場などで抱えている悩みや現状をざつとくばらんに出し合いました。認可・無認可、公立・私立、施設・保育所・他の職業と、様々な立場の人の集まりという事でまとまりはないのですが、大きく挙げて次の点が悩みとして出されました。

【男性が定着しない】

その理由として・・・

給与面の問題

自分の給料だけでは家庭を支え

きれない。

・園長にでもならないとどうしよ

うもない。

・主任にもなれないほど保育者の

年齢が上がっている。

同性との精神的つながりが無く、

職場では孤独である。

適性の問題

くどれだけ保育関心をもった男性

がいるのか？ 男性の希望就職の

七か八番目に保育者があるという

話しもあるが・・・

・給与の問題については、男性に限

らず保育者の給与体系の問題があ

る。長い間、女性職場であり続けた

ところにも起因していると思われる。

・精神的な問題としては、職場での

不満や悩みを打ち明けられる仲間が
身近にいないと、がんばって仕事を
続けられない。

それでもなぜ保育をするのか？

「私達は子どもと育ち合いたい」

そんな気持ちがあるからです。

今後の方向性としては、様々な悩
みや問題を出し合い、それだけに終
わらず保育の専門職である私たちが
「謙虚になつて互いを高め合う場」
にしていきたい。

具体的には・・・

・会の中で講演会を企画する。

・つながりを深めるため、活動報

告を定期的に行い、交流してい

く。

というものが出されました。

総会後の二次会、そして保育園に
戻つてからの三次会も、保育のこ
と、社会のこと、あそびのことな
ど、色々な話しが深夜（明け方）ま
で続きました。

会則改正

会計年度の変更

十一月～十月 四～三月

総会の時期もこれに合わせた時

期に行う。

事務局

発寒ひかり保育園

北白石保育園

（白石区北郷二二三）

年会費の増額

三千円

今後の活動方針や内容を具体的

に煮詰めてから決定する。

役員改選

【旧役員】会長 大泉善夫、事務局 小田進一、桑原一司、会計 瀬尾昌彦、会計監査 藤田春義

【新役員】会長 小田進一、軸局 船戸敬悦、伊藤 裕、桑原一司、会計 瀬尾昌彦、会計監査 藤田春義、別府国茂

総会時、会計は桑原でしたが、

通帳名義や運営上の都合で瀬尾氏

に続けてやっていたいただきます。

「風に吹かれて」

「保父修業物語」

第二はとポツポ保育園

その一
船戸敬悦

私が保父になつたきつかけは、宮崎の大学で造園設計の勉強をして、四年の時に、卒論で保育園や幼稚園の遊具の色彩感覚の調査をして、その時だつた。その保育園の園長さんから「あなたも就職決まつた？もしよかつたら保父さんになつてみない？」と誘われてからだつた。その年、昭和五十二年は先輩達の並々ならない運動により、保育園にも保母として女性だけでなく男性も採用できるということが厚生省で認められた年であり、この時から続々とユニークな男性達が保育実践の場を求めて巣立ちゆくという画期的な年であつた。

私の場合、大阪の城東区にある今福保育園を紹介してもらい、さっそく宮崎から大阪へと面接に向かつた。環状線京橋駅から運河沿いをずーと東に向かつて歩いていくと、かすかに生駒の山並みが見えた。城東区今福は鉄工所や工場の多い河内と呼ばれる大阪の下町だつ

た。道が網の目のように細く入り組んでいて、道端ではおばあちゃんたちの陽気な笑い声がひびいていて、なんとも個人的な印象の町だつた。道を迷いながらやつと保育園についたとたん、保育園なのに学校のように大きな三階建にはびつくりした。中から子ども達の歓声が聞こえてくる。私はちよつと緊張した声で「ごめんください！」と言つた。中から「おう！」という声が出て、体は小さいががつちりした体格のきりつとした目つきの男の人が現れた。園長だつた。

「あ、保父のなりたいのですか？」

「あ、あきみか、きいとるきいとる。まあはいりな」

初めて聞く大阪弁だつた。「きみは一生涯保育士としてやつていく自信はあるかいな？」私は思わず「はい」と答えてしまつた。「ほんなら明日からはたらいてもらうわ！」

「明日からですか？」

「そうや、明日からや」

それから私の大阪での保父修業が始まつたのである。次回につづく

保育者として

大泉 修

私が保育の仕事をやろうと決めたのは、大学三年の時でした。その理由は、ある町のある家族の会話でカブト虫が死んだ時に子どもが「お母さん、カブト虫の電池取り替えてよ。」そんな会話を耳にした時からでした。子ども達の環境も文明社会のなかでは何が本当なのか分からなくなつて来ているのが非常に淋しかったからです。今ではもう非常に難しくなりましたが、ただ単に自分が子どもの頃色々な虫や動物と遊んだこと、その環境を味わせてやりたかつたのです。

保育の仕事をするには資格が必要だと思い、大学を卒業してから専門学校に入ることにしました。試験に備えて一般常識、歌の練習をしました。歌は行きつけの美容院の人のピアノを借りて「ドー・レーミー」とか「ソー・シー・レー」と叫んでいました。その甲斐あつて補充合格し、保育の道に一步踏み出すことが出来ました。

クラスは全部で50人、女48人、男2人。でも女の子が多いのは当然だろうと思っていましたから、その辺は何の苦にもなりませんでした。授業で一番大変だったのはやはりピアノで、卒業間近になって補講がつきやつとの思いで卒業が出来た感があります。あれだけ嫌いだっただピアノが今では好きになりました。在学中は出来るだけ色々な保育園を周り、その保育園の方針などを聞かせてもらい自分のためになるものはほとんど取り入れて役立てていきたいという気持ちでした。中でも静岡県にある野中保育園は、私にはスベシャルシヨックでした。そこに就職を決めてくるつもりだったのが、帰るときには「勉強して出直してきませう」になったほどで、自分の未熟さを思い知らされました。その後男性保育者の採用は芳しくありませんでしたが、幸い実習にいつていた保育園と同じ系列で新しく開園する幼稚園から声がかかり現在に至っているわけですが、大学の時保育をやる

うと決めたあの気持ちは忘れないで仕事に取り組んでいきたいと思っています。現在まだまだ男性保育者の置かれている状況は厳しいものがあります。が、何故自分がこの仕事をやっていきたいのかを問い直してみることによつて、自分の中に保育観は膨らんでいくし、また職場の保育の質も高まつていくのではないのでしょうか。そういった面からも男性保育者としてアピールしていく必要があると思います。

事務局より

現在の月一回の例会は毎月第3土曜日の午後六時三十分より、中央区北三西七道庁別館二階、社会福祉協議会会議室一又は二で行つていますが、変更してほしい等のご意見がありがたい方は、事務局まで連絡をお願いします。

ただいま、平成一年度と二年度分の会費（各三千元）を集めています。未納の方は至急・・・
・北洋銀行 北郷支店 口座番号 03113222 北海道の子どもと保父の会会計 瀬尾昌彦「まで振り込みをお願いします。

お知らせ

この保父会ニュース（仮称）の名前と原稿を募集しています！良い名前を思いつかれた方、また載せてほしい原稿がありましたら、事務局までお寄せください。

編集後記

今年も卒園式が終わり、ホッとする間もなく入園準備に追われる毎日が続いています。新年度はまた新たな気持ちで頑張ろうと思っ

（瀬尾）

早いもので保育の仕事について丸四年が過ぎようとしています。日々の保育に追われがちな私にとつて父の会は良い「刺激剤」になります。これからもがんばるゾ！

（桑原）

夜、集まってわいわい言いながら作業するのもいいもんです。学生時代を思い出しています。反響を是非寄せられたし！！

（小田）

全道の保父さん達と総会の場で出会って、元気づけられました。「元気印のブツチャンで保父の会活動もガンバルゾ！！」

（船戸）

就職も決まり保育者として、また社会人としてスタートを切ることができました。職場で、そして保父の会で学び、実践に役立てていきたいと思

（大泉）

事務局

〇〇三

札幌市白石区北郷二条三丁目
北白石保育園内

当時のものとは、一部変更されている部分があります。